



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第3号
新発田市上今泉 366 番地 1 画 33-2435
児童数 237 人 (R 4.6.9 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>



心を育てる

校長 丸山 久志

初夏の風も爽やかな季節となりました。5月は校外学習や大運動会がありそれらの教育活動を通して子どもたちが、また一つたくましく成長したと感じています。行事等にご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

さて、今年も6月は「いじめ見逃しゼロ」県民運動の強調月間です。加治川小学校でも「自分も相手もたいせつにした言葉づかいや行動をしよう」を6月の生活目標に設定し、「いじめ見逃しゼロ」に向けた取組を進めてまいります。6月の全校朝会では頭と身体と心を育てることについて話をしました。



学力が向上したかについては、各単元のテストやNRTなどの点数である程度わかります。また、身体が育ったかについても身長伸びや体重の増加でわかります。どちらも数値化できるので客観的でわかりやすいと思います。

しかし、「心」が育っているか、また、「豊か」になっているかどうかについては目に見えない部分が多く、数値化することが困難と言えます。

私は、次の2つのことでも子どもたちの心の中の「豊かさ」が分かると考えています。

1つ目は、「心は見えませんが、行動は目に見える」です。

例えば、教室の掲示物がはがれているとします。気付いた瞬間に画鋲を取りに行き直すことができること。また、教室や廊下にゴミや埃が落ちているのを見つけたらすぐに拾うことができること。友達が(1年生がどこに並べばよいかわからないときなど)困っているとき手伝ってあげることなどです。これらの行動ができるかできないかで心の有り様がわかります。

2つ目は、「心は見えませんが、言葉は耳に聞こえる。」です。

「ありがとうございます」「おはようございます」「こんにちは」「どうぞ」といった言葉は、「ふわふわ言葉」として学校の多くの場面で耳にしています。

このような行動や言葉をたくさん見聞きできたかによって「心」が「豊か」になっているかどうかの指針となるのではないのでしょうか。

体や頭が育つために栄養が必要なように、心を育てるにも栄養が必要です。心の栄養は、すぐれた人物に出会うことです。すてきな家族、友達、先生、地域の方などの身近な人、そして詩人、作家、歴史上の人物などに出会うことです。また、すぐれた作品に出会うことも心の栄養です。からだで感じるもの(物)に出会うことです。心が動く物に出会うことです。すてきな絵本、詩、童話や物語に出会いたいものです。物を介して人とつながることも生まれます。

保護者、地域の皆様や、私たち教師は、子どもたちをすぐれた人物や作品に出会わせることができます。素敵な出会いを演出したいものです。もちろん、人の仲介なしに、子どもたち自ら出会うことができればこんなにラッキーなことではないでしょう。

素敵な出会いを繰り返しながら「心」を育てて「優しい言葉」と「優しい行動」のできる子どもたちになってほしいと願っています。